



【問い合わせ先】

電話 045-211-1118
海洋情報部 監理課
課長 長野 勝行 (内線2510)

平成 29 年 2 月 24 日
第三管区海上保安本部

被災港湾の海図リニューアル完了!

～震災後に実施した被災港湾の測量結果を反映して海図を更新～

東日本大震災後に実施した測量結果を踏まえ、被災港湾である大津港の新しい海図を、2月24日に発行しました。これにより、三管区内全ての被災港湾の海図は、震災後の測量結果を反映したものになりました。

海上保安庁は、安全な航海に必要な水深、水中障害物、灯台等の航路標識、港湾施設等の情報を記載した海図を発行しています。

東日本大震災で被災した港湾は、岸壁の崩壊、津波により流出した水中障害物の存在、水深の大きな変化が生じており、海図の記載内容と現状に差異が生じていました。

海上保安庁では、これら被災港湾の航路や岸壁周辺の測量を順次実施し海図を更新してきたところですが、今回、茨城県大津港について、震災後の測量結果を海図に反映し、2月24日に発行しました。大津港の海図の更新をもちまして、管内被災港湾10港の海図9図全てが、震災後の測量結果を反映した新しい海図になりました。

○発行海図の概要

海図番号	海 図 名	縮 尺	図 積	価格(税込み)	発行日
W1096	本州東岸南部沿岸諸分図		1/2	2,700円	2月24日
	四倉港	1/7,000			
	大津港	1/7,000			
	江名港及中之作港	1/7,000			

※図積：「1/2」は、ほぼB2判(約77cm×54cm)

○海図の販売所

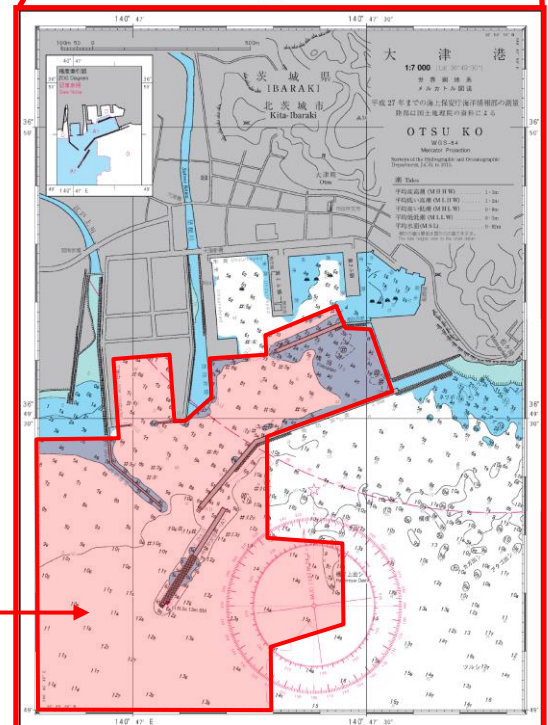
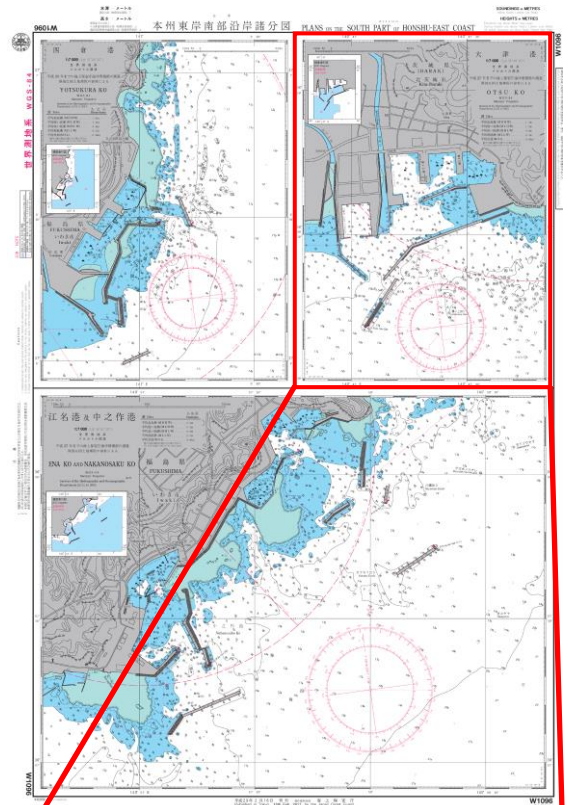
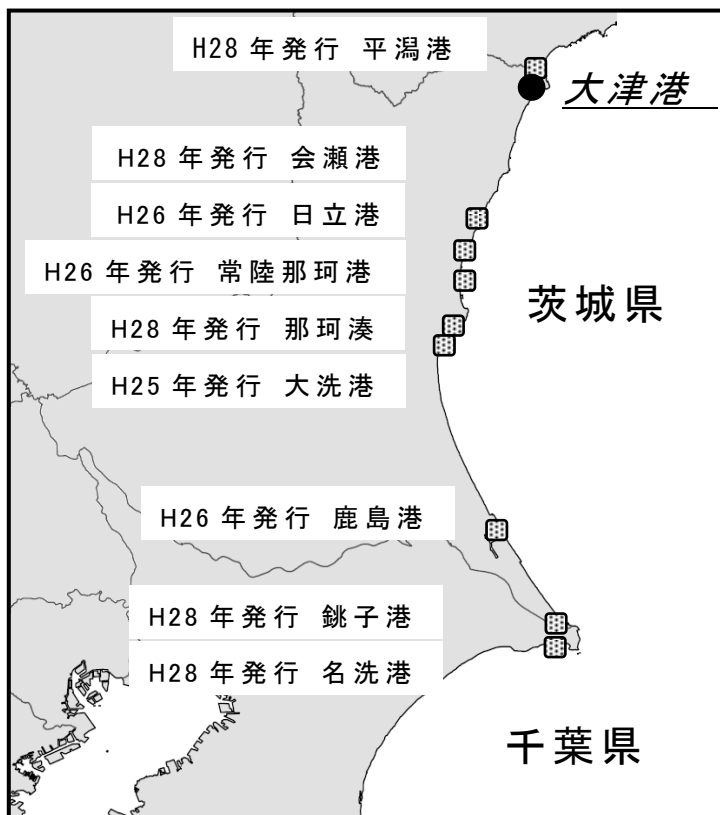
海図は水路図誌販売所及び取次店で購入できます。

入手方法及び販売所等は、第三管区海上保安本部海洋情報部ホームページをご覧ください。
いただくか、第三管区海上保安本部海の相談室にお問い合わせください。

ホームページアドレス <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN3/index.html>

海の相談室電話番号 045-211-1118 内線2511

震災後の測量結果で内容を更新した港湾



震災後の測量により、最新の
情報に改めた大津港の区域